

府営土地改良事業（田辺排水機場地区）変更計画概要書

第1章 計画変更の内容

1. 事業費の10%以上の増額

事業費の変更 変更前 1,788,000千円

変更後 2,750,976千円 (単位：千円)

当初事業費	自然増	事業量変更	工法変更	その他	変更後事業費
1,788,000	430,600	532,376	—	—	2,750,976

$(2,750,976 - 430,600) / 1,788,000 \times 100 = 129.77\% > 110\%$ 重要変更

第2章 計画変更を必要とする理由

本排水機場更新工事を施工するにあたり、関連工事との調整、現地条件等の精査により、計画、設計の見直しを行った。主な変更は下記のとおりである。

- ・樋門工の変更
- ・越流堰の設置
- ・隔壁の設置
- ・樋門接続水路の変更 計 532,376 千円の増

第3章 目的

本地区は一級河川木津川左岸の京田辺市に位置する186haの農地を有する地域である。

この地域の排水は、各排水路から幹線排水路、防賀川等を通じ神矢樋門より、また防賀川の天津神川樋門で抑制された排水は西浜樋門より、それぞれ木津川に自然排水されているが、木津川の水位上昇に伴い自然排水が不能になった場合は田辺排水機場と神矢排水機場から機械排水を行っている。

しかしながら、田辺排水機場は、昭和34年度に府営綴喜郡西部土地改良事業により築造され、施設構造が現在の河川管理施設構造令等の諸基準に合致しておらず脆弱なため不具合が生じており、放置すると木津川堤防や背後地に悪影響を及ぼす恐れが出ている。

また、築造後の流域開発等による排水量の増加や昨今のゲリラ豪雨の影響により農地湛水が増加している。

このため、本事業により田辺排水機場の全面更新と排水能力の増強を行って、災害の未然防止と湛水防除を図り、農地の一層の汎用化を促し収益性の高い農業経営を目指す。

第4章 地域の所在及び現況

1. 地域の所在 京田辺市田辺、東、草内、河原、興戸

2. 受益面積

地 目	田	畑	樹園地	その他		計
面積 (ha)	152.4ha	33.6ha	—	—		186.0ha

3. 地域環境の概況

- ・地 形：傾斜区分 1／1000 以下 受益地標高 最高 34m 最低 21m
- ・地質及び土壌：礫層土壌、礫質土壌、灰褐色府土壌、強グライ土壌が分布している。
- ・気 象：年間を通じ比較的温暖で、年平均気温約 16 度、平均年降水量約 1,500mm
- ・水利状況：用水は木津川等河川水の取水及び地下水揚水による。排水は各排水路から幹線排水路、防賀川等を通じ木津川に排水されている。
- ・営農状況：稲作のほか田辺なす、えび芋、きゅうり、小松菜などの収益性の高い作物の生産が行われている。
- ・地域状況：昭和 40 年代から 50 年代を中心に農地・山林の宅地化が進行し、農地の減少、人口の増加、排水の増加が生じてきた地域である。

第5章 基本計画

1. 事業計画の要旨

田辺排水機場は、昭和 34 年度に府営綴喜郡西部土地改良事業により築造され、施設構造が現在の河川管理構造令等の諸基準に合致しておらず脆弱なため不具合が生じており、諸基準に合致した施設に全面更新を行うとともに、築造後の流域開発等による排水量の増加や昨今のゲリラ豪雨の影響等による農地湛水に対応できる能力を備えた施設に更新を行う。

これらは、農村地域防災減災事業（湛水防除事業）により一体的に実施する。

2. 事業別面積

事業名	事業目的	田	畑	樹園地	その他	計	備考
農村地域防災減災事業	排 水	152.4ha	33.6ha	—	—	186.0ha	

3. 環境との調和への配慮

京田辺市田園環境マスタープランでは、田辺排水機場付近は「木津川沿岸地域」の環境配慮区域に位置し農地保全に努めるゾーンである。

環境調査の結果、排水機場周辺の水路や圃場において希少種が確認されたが、これらの主要な生息環境は防賀川や周辺圃場等他にある可能性が高く、他にも同様の環境が広く存在しており、本事業による工事によって改変される範囲は限定的であり工事後も現況の環境から大きく変化しないと考えられることから、特別な配慮の必要性は低いと考えられる。

そのため特別な配慮は行わないが、工事の実施に際しては、①工事範囲を出来るだけ小さくする。②濁水の発生・流出を極力抑制する。③防賀川から流入してきたと考えられる希少種を確認した時は捕獲して防賀川に移動する。④特定外来種を確認した時は適切に処理することとする。

第6章 工事又は管理の要領

1. 工事の内容

工事は、排水機場の全面的な更新工事を行うもの（設置基準適合化、排水機能復旧）

名 称	位 置	主 要 工 事 計 画
田辺排水機場	京田辺市 田辺西浜	(1)排水ポンプ 横軸斜流φ1,000mm 2台 排水量 5.0 m ³ /S 原動機ディーゼルエンジン 2台 (2)樋管 BOX W1.4m × H2.4m L=39.9m (3)付帯設備 建屋、除塵機設備、 樋門、吐出水槽、導水路、遊水池 (4)操作設備 操作盤、監視システム (5)仮設工 仮締切り、仮設道路

2. 管理の要領

更新された施設の管理については、綴喜西部土地改良区により適切な管理を行う。

第7章 費用の概算

区 分	事 業 費	備 考
主 要 工 事	2,750,976 千円	
附 帯 工 事	—	
計	2,750,976 千円	

第8章 効用

	年総効果 (便益) 額 (百万円)	年総増加農 業所得額 (百万円)	備 考
食料の安定供給の確保に関する 効果	82.0	4.9	作物生産効果 営農経費節減効果 維持管理費節減効果
農業の持続的発展に関する効果	15.9	0.1	災害防止効果(農業関係資産)
農村の振興に関する効果	98.0	—	災害防止効果(一般資産)
多面的機能の発揮に関する効果	40.8	—	災害防止効果(公共資産)
その他の効果	11.9	—	国産農産物安定供給効果
計	248.6	5.0	

第9章 他事業との関係

田辺地域治水対策事業(防賀川・新西浜樋門)

関連事業で実施する新西浜合同樋門4門のうち、1門を本排水機場の強制排水樋門とする。

第10章 計画概要図

別紙のとおり

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

区 分	農村地域防災減災事業（湛水防除事業）		備 考
	負担率（％）	金額（千円）	
国費負担予定額	50	1,375,488	
府費予定負担額	37	1,017,861.12	
京田辺市負担予定額	13	357,626.88	
受益者負担予定額	—	—	
総事業費予定額	100	2,750,976	

2 地元負担の予定基準

なし

農村地域防災減災事業（湛水防除事業） 田辺排水機場地区 計画位置図

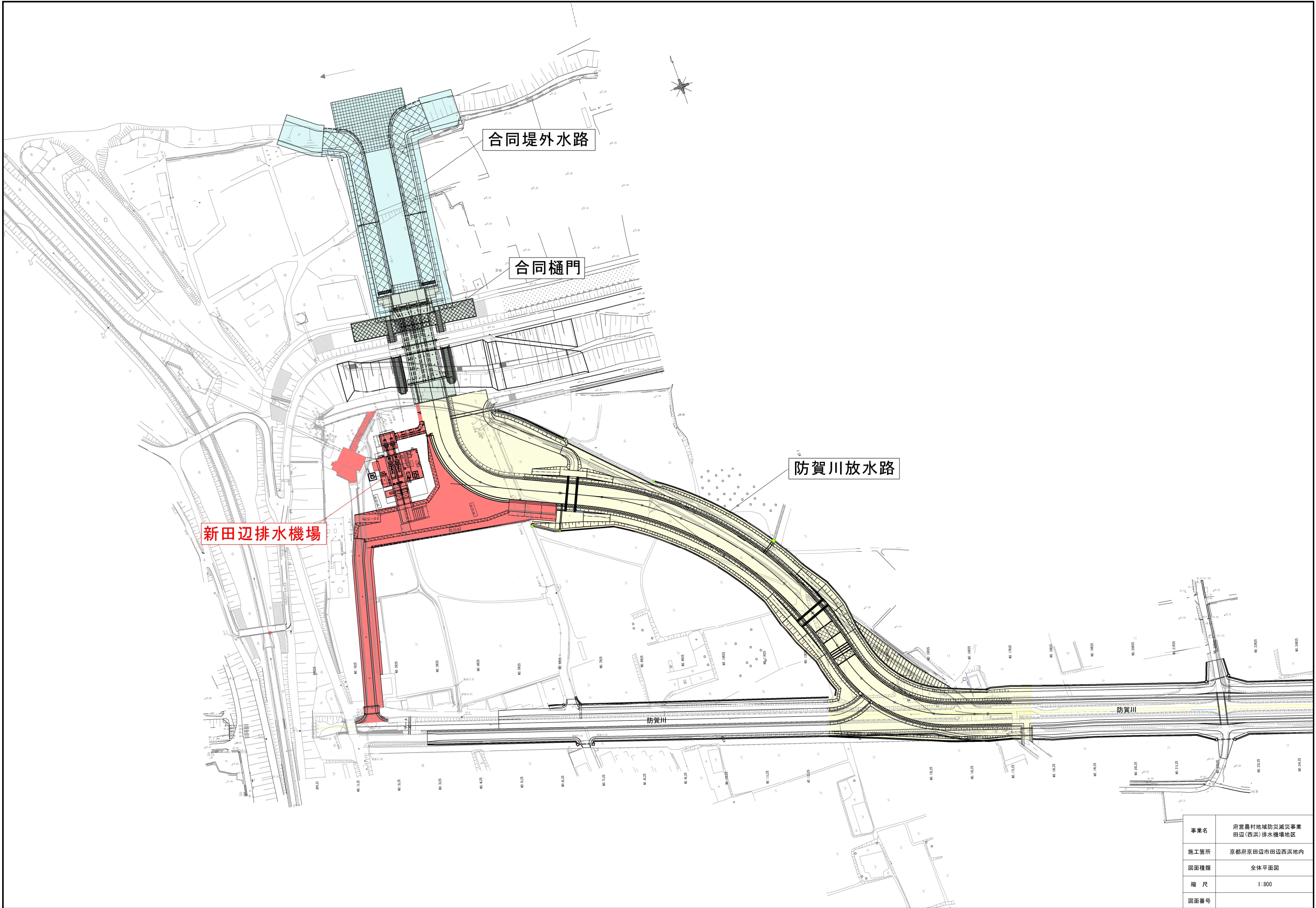


田辺排水機場

農地面積
186ha

流域面積
759ha

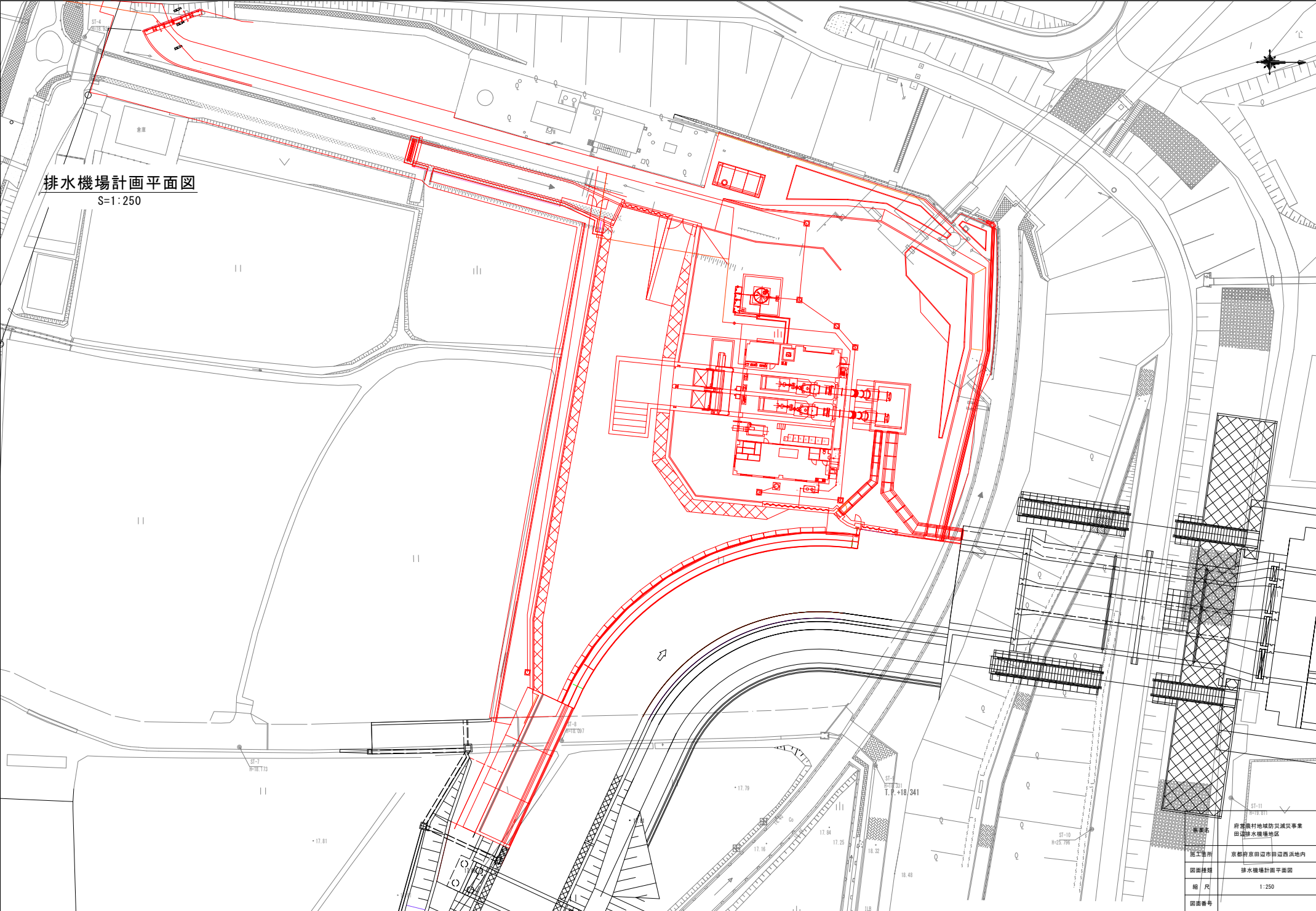
凡 例	
	区域内
	流域
	排水機場



事業名	府営農村地域防災減災事業 田辺(西浜)排水機場地区
施工箇所	京都府京田辺市田辺西浜地内
図面種類	全体平面図
縮 尺	1:800
図面番号	

排水機場計画平面図

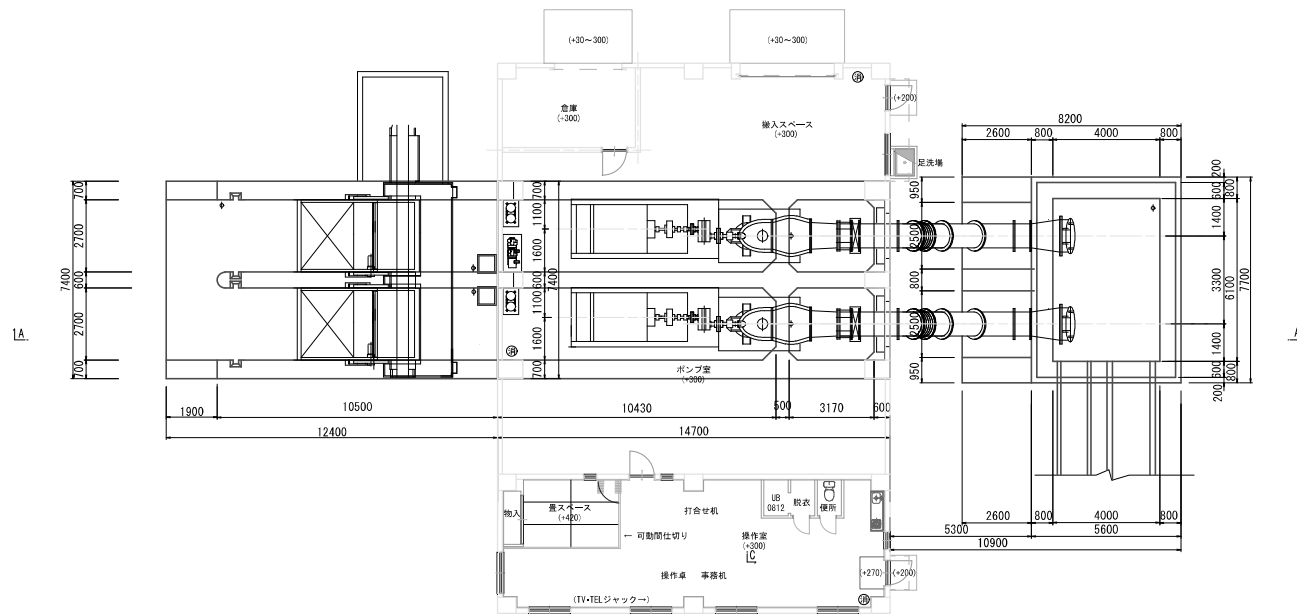
S=1:250



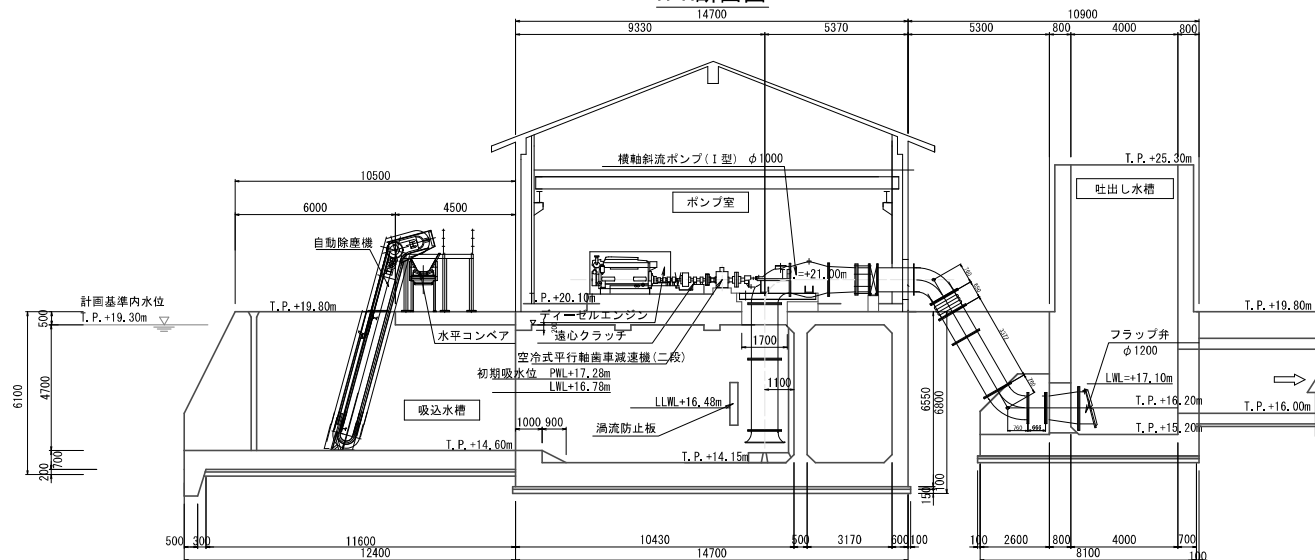
事業名	府県町村地域防災減災事業 田辺排水機場地区
施工箇所	京都府京田辺市田辺西浜地内
図面種類	排水機場計画平面図
縮 尺	1:250
図面番号	

平面图

17



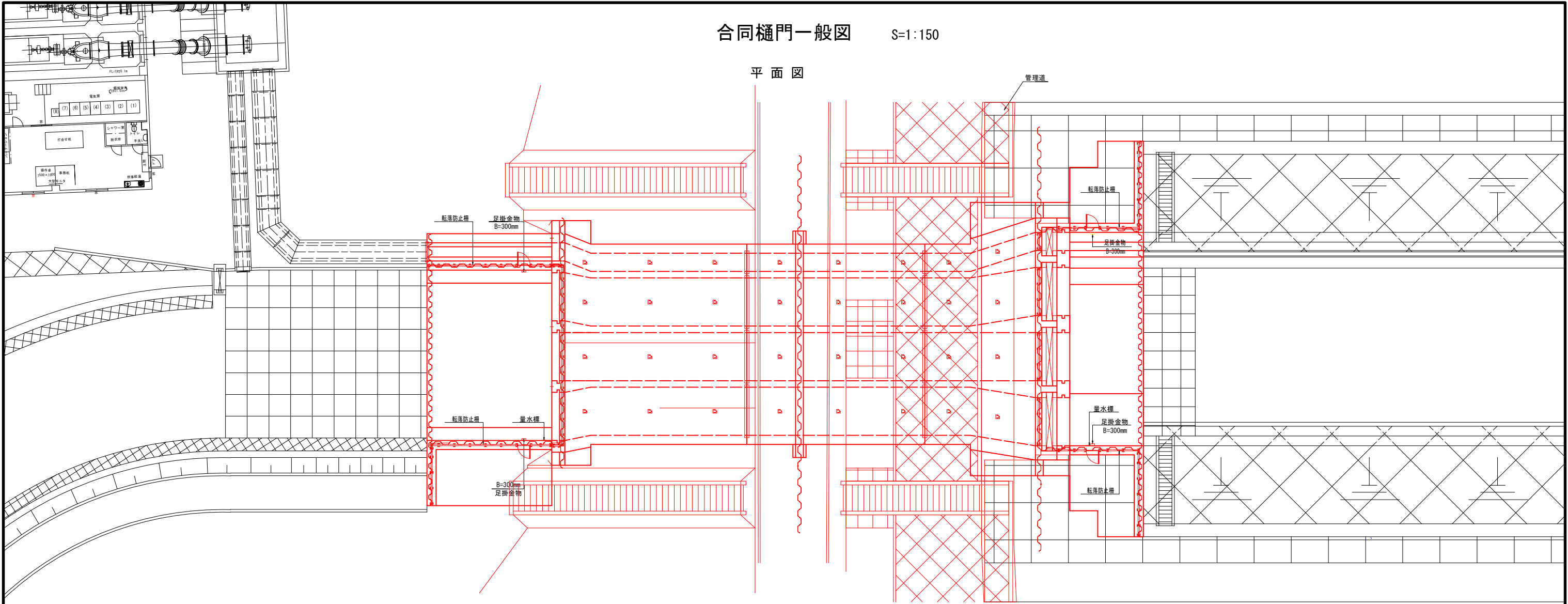
A-A断面図



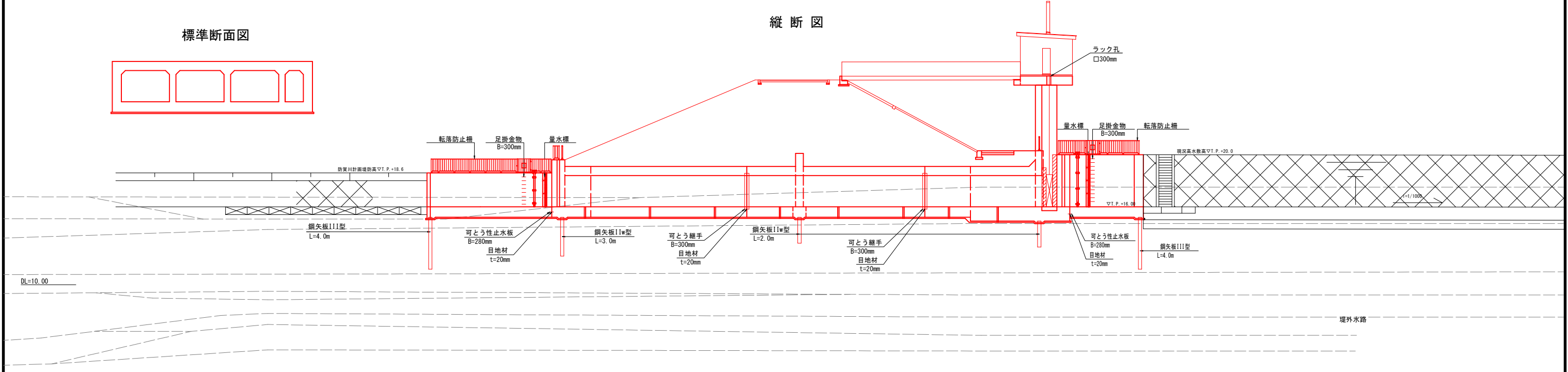
業務名	令和元年度 府宮農村地域防災減災事業 田排水機場地区排水機場 実施設計業務
工事番号	
施工箇所	京都府京田辺市田辺西浜地内
図面種類	機場工構造一般図
縮 尺	1:100
図面番号	ii - 01 - 1/1

合同樋門一般図 S=1:150

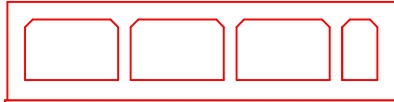
平面図



縦断図



標準断面図



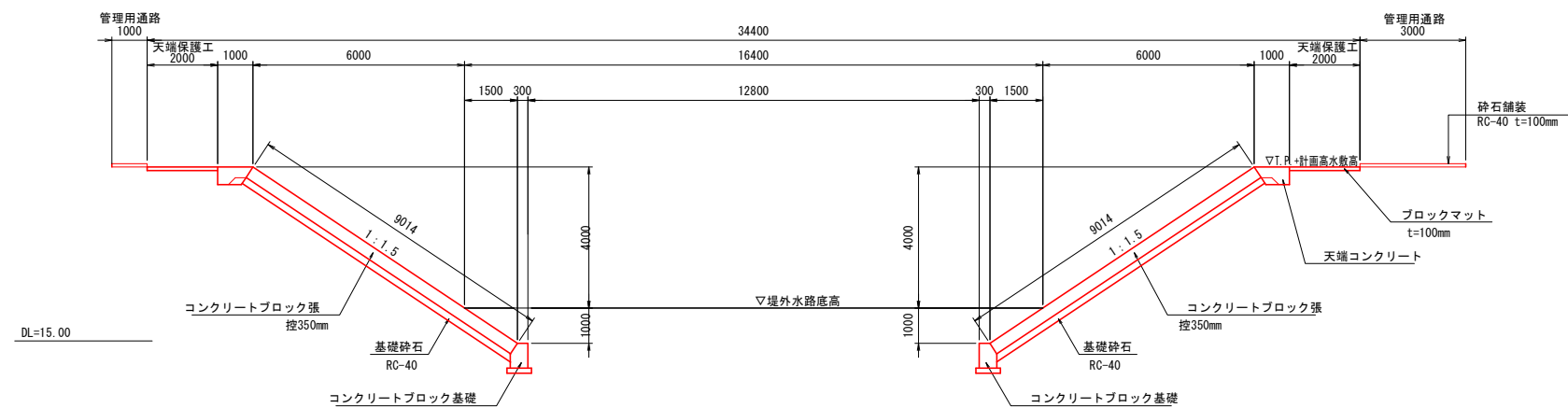
図面種類	合同樋門一般図
縮尺	S=1:150
図面番号	

※縦断面図の現況地形は樋門上流端、下流端でそれぞれベーパーロケーションした断面である

(木津川低水護岸)

[illegible]

HNO. -3



図面種類	合同堤外水路計画一般図
縮 尺	図示
図面番号	